

日本ハンドボール協会 公認審判員C級を申請される方へ



令和3年3月1日以降 公認C級審判員審査について

令和 3 年 3 月 1 日

(公財) 日本ハンドボール協会 審判委員会

(上級申請の要件)

第6条 上級を申請する場合には次の要件が満たされていなければならない

- (1) C級の審査を受ける場合にはD級を取得してから満1年を経えていなければならない(申請時に満1年を経えていなくてもよい)。

(C級の申請)

第7条 上級を申請する場合には次の要件が満たされていなければならない

- (1) C 級を申請する公認審判員は、所定の公認 C 級審判員申請書に手帳と別表 1 の審査料・認定料をそえて各都道府県審判委員会に提出する。各都道府県審判委員会は、提出された公認 C 級審判員申請書と手帳の記入内容を確認し、筆記試験による審査を経て、審査料・認定料とともに、各都道府県審判長の推薦書をそえて、各ブロック審判長に申請する。

- ④ C級申請者は、ブロックまたは各都道府県、各連盟における審判講習会にて、競技規則試験を受ける。試験問題はすでに指定されてある3つの中から審判講習会の主催者にて1つ選択し、実施する。所要時間は20分とする。
- ⑤ 筆記試験60点以上(15問以上の正答)とする。60点に満たない場合は、申請者の意思があれば追試験を受けることができる。追試験は同日に行うこともできるが、別日の場合は責任ある立場(ブロック、都道府県審判長、各都道府県における連盟審判長等)の立ち合いのもとに行わなければならない。追試験の回数は問わない。
- ⑥ **筆記試験に合格した者のみ**、手帳、申請書、審査料・認定料を添えてブロック審判長へ提出する。その際、C級審判申請書の推薦書の欄に筆記試験の実施日及び合格時の点数を記載する。

審判部長：^{かわばた}川端^{ゆうき}祐貴

〒 811-0119

福岡県糟屋郡新宮町緑ヶ浜4丁目16-14-1011

電話番号：090-5478-5873

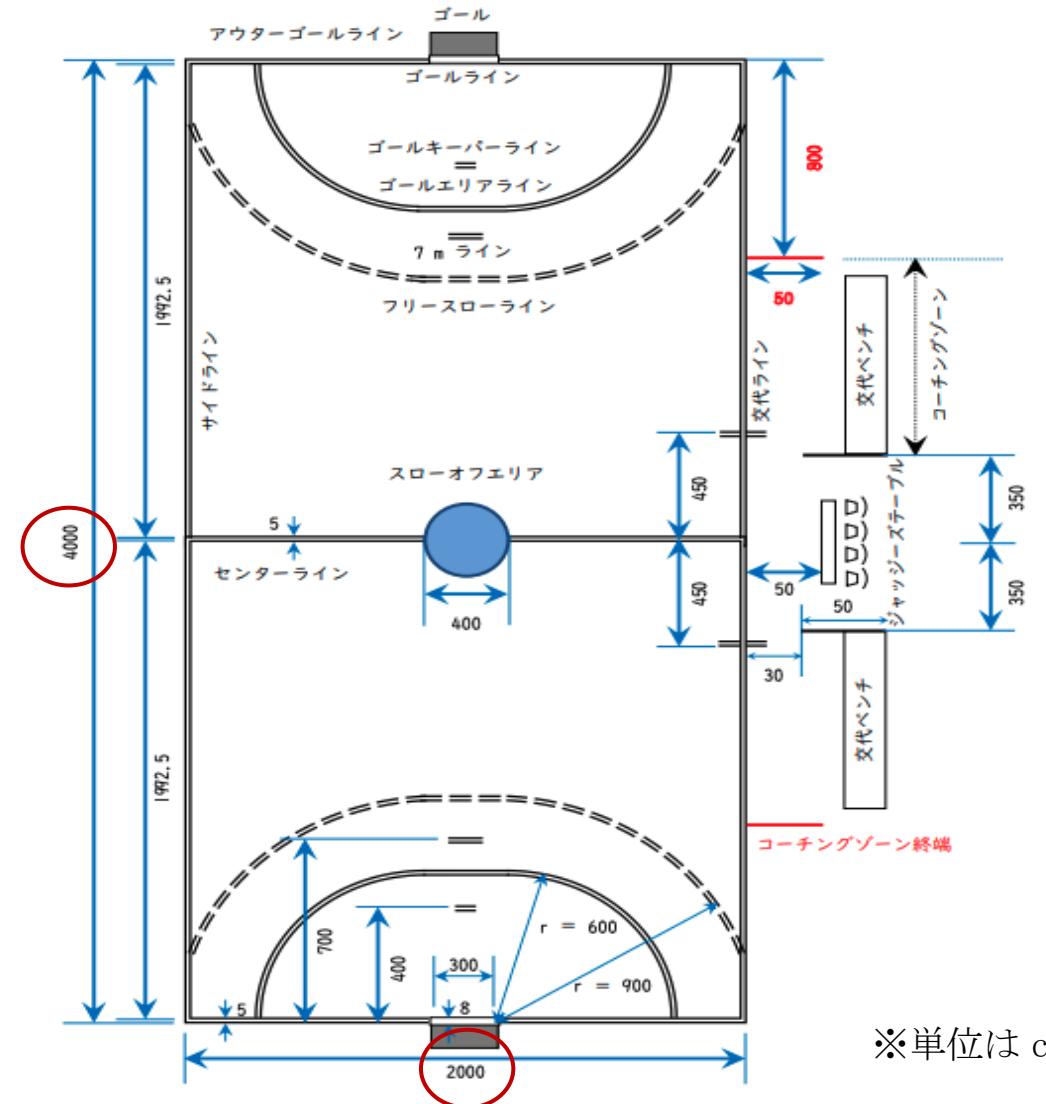
Email：fielder4208@yahoo.co.jp

勤務先：福岡県教育庁教育振興部高校教育課

2025年度 C級審判審査 筆記試験問題

1. 競技規則でコートの広さはどのように規定されているか。

- (a) 40×20 m
- (b) 42×20 m
- (c) 38×28 m
- (d) 長さ $38 \sim 42$ m、幅 $18 \sim 22$ m



※単位は cm

2. 得点を認めた後、レフェリーがその得点を取り消すことができるのは、どの時点までか。

- (a) スローオフの笛まで
- (b) 競技の終了合図まで
- (c) タイムキーパーが競技を中断した後の得点は、たとえ次のスローオフの笛を吹いていたとしても取り消さなければならない
- (d) 得点の取り消しは不可能

これは、得点が認められてからスローオフの笛の合図が鳴るまでは競技の中断中であると判断する。スローオフの後の得点の取り消しは原則不可であるが、TOからの合図の後には取り消すことが可能である。

第2条9項(注)・第9条2項 参照
競技規則問題集【2-13】

3. 白チームが打ったシュートを、黒チームのゴールキーパー1番が止めた。止めたボールがゴールエリア内をバウンドしている最中に、白チームのチーム役員Aがチームタイムアウトを請求するため、タイムキーパーの目の前(机の上)にグリーンカードを置いた。ボールがまだゴールエリア内をバウンドしているときに、タイムキーパーはチームタイムアウトの笛を吹いた。このときボールは、ゴールエリアのすぐ外側で一人待ち構えている白チームの13番の近くまできていた。レフェリーの正しい判定はどれか。

- (a) 白チームのチームタイムアウト
- (b) チームタイムアウトは認められなかったため、白チームのチーム役員Aにグリーンカードを返す
- (c) 白チームのフリースロー
- (d) 黒チームのゴールキーパーのフリースロー

ゴールエリア内をバウンドしているとき、転がっているときはまだインプレー中である。したがって再開方法も最後にボールを所持していたチームのフリースローからとなる。

4. レフェリーが予備のボールを使用すると判断した場合、いつ元のボールに戻すべきか。

(a) 次の競技中断時

(b) 予備のボールが使用不能にならないければ、元のボールを再び使用することはできない

(c) レフェリーが必要と考えたとき

(d) どちらかのチームから要求されたとき

第3条4項 参照
競技規則問題集【3-4】

チームや選手から変更を求められたとしても、必要性がなければ**必ずしも変更する必要はない**。レフェリーの判断で行う。

5. 白チーム 11 番は競技の開始直前に重傷を負ったため、プレーできなくなった。

(a) 白チームの 11 番は交代できない

(b) 相手チームが了承すれば、白チームの 11 番は交代できる

(c) 通常、白チームの 11 番は、記録用紙に記載した名前を変更し交代できる。また、代わりに参加するプレーヤーは 11 番をつけてもよいが、レフェリーは、各大会における特別な規定を守らなければならない場合もある

(d) 白チームの 11 番は交代できるが、代わりに参加するプレーヤーは 11 番をつけることはできない

第4条1項・3項 参照
競技規則問題集【4-1】

延長戦を含めていつでも14名までは補充可能である。ただし、記録用紙への記載が必要。

6. 競技の開始時、白チームは 6 名のプレーヤーしかいなかったが、競技開始直後に、白チームのプレーヤー 7 番が遅れて会場に到着した。白チームの 7 番はそのまま自陣の交代地域を通過してコート内に入った。白チームの 7 番は、記録用紙に記載されていなかった。

- (a) (レフェリーはレッドカードを示し) 白チームの 7 番を失格とする
- (b) 白チームの 7 番を 2 分間退場とし、記録用紙に追加で記載しなければならない
- (c)** 主催者が定める規定に一致するなら、白チームの 7 番を記録用紙に追加で記載しなければならない
- (d)** 白チームのチーム責任者に、段階的罰則を適用する

第4条3項・第16条1項b 参照
競技規則問題集【4-6】

開始時に白チームには6名のプレーヤーしかいないため、
7番のプレーヤーは余計なプレーヤーではない。
したがって前問題と同様に**追加で記録用紙に記載する。**
ただし、**事前に記録用紙への記載がないため、チーム責任者には段階罰が必要である。**

7. チーム責任者に段階的罰則を適用するのは、どのような場合か。

- (a) 自チームのプレーヤーが、タイムキーパー・スコアキーパーに告げることなく交代地域を去ったとき
- (b)** 記録用紙に記載されていない者が、競技の開始時に交代地域にいるとき
- (c) プレーヤーが余計にコートに入ったとき
- (d)** 参加資格のないプレーヤーがコートに入ったとき
- (e)** 競技開始後に、コート上のプレーヤーが許されない装具を身に着けていることを確認したとき
- (f)** 交代地域で違反があったものの、違反をした者が特定できないとき
- (g) 競技開始後に、交代地域内のプレーヤーが許されない装具を身に着けていることを確認したとき

第4条2項・3項・9項 参照
競技規則問題集【4-34】

参加資格に関する場合や不正交代等で違反者が特定できない場合。許されない装具に関しては付録2を参照。

8. 黒チームの 18 番が打ったシュートは、白チームの 7 番によってブロックされた。それによりボールは方向を変えて、明らかにゴールエリア内のアウターゴールラインを通ってコートの外に出ようとしていた。白チームのゴールキーパー1番はボールの後を追いかけていき、アウターゴールラインからボールを蹴り出した。

- (a) 白チームのゴールキーパースロー
- (b) 黒チームのスローイン
- (c) 黒チームのフリースロー
- (d) 白チームのゴールキーパー 1 番に、段階的罰則を適用

第5条10項・第12条1項 参照
競技規則問題集【5-7】

ゴールキーパーはアウターゴールラインに向かうボールに対しては足を使って良い。

9. 白チームの 11 番は、自陣のゴールエリアの方向にボールを戻した。白チームのゴールキーパー 1 番は、ゴールエリア上でジャンプして空中でボールをキャッチした。ボールを持ったまま着地したが、片足はゴールエリアの中、他方の足はプレーイングエリア上であった。

- (a) そのまま競技を続行
- (b) 白チームのゴールキーパースロー
- ☒ (c) 相手チームのフリースロー
- (d) 相手チームの 7 m スロー

第5条3項・6項・第6条7項b 参照
競技規則問題集【6-11】

ゴールキーパーはプレーイングエリアでは
コートプレーヤー扱いとなる。

10. 白チームの4番が立った状態でボールをキャッチした。その状態からジャンプして右足で着地し、次に左足でジャンプしてボールを投げた。何歩動いたことになるか。

- (a) 1
- ☒ (b) 2
- (c) 3
- (d) 4

11. 白チームの速攻中、黒チーム 7 番は余計なプレーヤーとしてコートに入り、白チーム 5 番を捕まえて明らかな得点チャンスを妨害した。

- (a) 黒チーム 7 番を 2 分間退場
- (b) 黒チーム 7 番を、報告書を伴わない失格とする(レッドカード)
- (c)** 黒チーム 7 番を、報告書を伴う失格とする(レッドカードとブルーカード)
- (d) フリースロー
- (e)** 7 m スロー

第4条6項・第8条10項b
第14条1項a・第16条6項b 参照
競技規則問題集【8-1】

第6問との違いは、**余計なプレーヤーとして**という点である。
また、不正に入場したプレーヤーによる明らかな得点チャンスの妨害は**報告書を伴う失格**(今回は+7m)が必須となる。

12. 競技開始直後、黒チーム 9 番はプッシングにより警告となった。そのすぐ後、黒チーム 7 番は、白チームのピボットプレイヤーを捕まえた。ただし白チームのピボットプレイヤーは、明らかな得点チャンスを得ているわけではなかった。

- (a) 白チームのフリースロー
- (b) 白チームの 7 m スロー
- (c) 黒チームの 7 番を、警告
- (d) 黒チームの 7 番を、2 分間退場

第8条3項・第13条1項b
第16条1項a 参照
競技規則問題集【8-11】

明らかに身体を狙ったプレーに対しては段階罰を適用する。ただし、競技規則P31に記載のある「**どの罰則を適用するか**の判断基準」を参考にする。

13. 警告としなければならない場合はどれか。

- ① (a) 主に、または完全に相手の身体を狙った違反行為
- ① (b) 相手の各種スローに対する違反
- (c) ボールの所持が相手チームに移る判定があった際に、ボールを床に置かなかったとき
- ① (d) 相手が 7 m スローの準備を終えたときに、ゴールキーパーが交代しようとしたとき

第8条3項・7項c・8項b・第14条10項
第16条1項b・3項c 参照
競技規則問題集【8-31】

各種スローに関して、3mの距離を確保するように指示した後も距離を確保せずスローの実施を遅らせるような事象では警告とする。
ただし、各種スローに関する違反では、即座に2分間退場とする場合もある。

14. 競技の終了直前、白チームが 22 対 21 でリードしているとき、競技規則に違反することなく、白チームの 5 番はスローオフを行い、ボールは白チームのゴールの方向に向かっている。白チームのゴールキーパーはゴールエリア内にいたがボールには触れず、ボールはそのままゴールに入った。白チーム 5 番のチームメイトは、スローオフの笛の合図後、ボールが出される前にセンターラインを越えて黒チームのゴールに向かって走った。レフェリーの正しい判定はどれか。

- (a) 黒チームの得点
- (b) 黒チームのフリースロー
- (c) 笛の合図の後に、スローオフを再度実施
- (d) 白チームの 5 番に、段階的罰則を適用
- (e) タイムアウト

15. (スローオフエリアを採用するコート) スローオフエリアに関する正しい記述はどれか。

- (a) スローオフは、レフエリーの笛の合図から 3 秒以内に、実施されなければならない
- (b) スローオフから直接シュートを狙い、得点を決めることができる
- (c) 防御側チームの不正な位置は、必ず正さなければならない
- (d) スローオフを実施する笛の合図の後に、スローを実施するプレイヤーがジャンプをしたならば、相手チームにフリースローを与える
- (e) スローオフを行うプレイヤーの味方のプレイヤーは、いかなる場合も、スローオフを実施する笛の合図の前に、センターラインを越えることは許されない

16. 白チームの3番は、サイドラインの2 m 外側からスローインを行なった。

- (a) この行為は許されるため、そのまま競技を続行
- (b) 相手チームのフリースロー
- (c) 笛の合図なしに、スローインを再度実施
- ☒ (d) 笛の合図の後に、スローインを再度実施

17. 白チームのゴールキーパー 1 番は、ゴールキーパースローを実施しようとしてボールを落としてしまった。ボールは、プレーイングエリアで待ち構えている黒チームの 6 番に向かって弾んでいった。そのため白チームの 2 番は、ゴールエリアに向かって飛び込み空中でボールを押し出して、サイドラインからボールを出した。

- (a) 笛の合図の後に、白チームのゴールキーパースローを実施
- (b) 黒チームのスローイン
- (c) 黒チームのフリースロー
- (d) 黒チームの 7 m スロー

ゴールキーパースローは競技の中断中であるため、確実に実施される必要がある。

18. 黒チームの 7 番はボールを所持し速攻をしようとしたが、白チームの 17 番に捕まえられた。アドバンテージを見ていたレフェリーがまさに笛を吹こうとしたとき、黒チームの 8 番がボールを受け取って、白チームのゴールにシュートを打った。白チームのゴールキーパー 12 番はシュートを止めて、速攻を開始しようとした。すでに両チームとも、3 回ずつの警告が適用されていた。

- (a) そのまま競技を続行
- (b) 白チームの 17 番を、2 分間の退場**
- (c) 白チームのゴールキーパースロー**
- (d) タイムアウト**
- (e) 黒チームのフリースロー

第2条8項a・第8条3項
第13条2項・第16条3項b 参照
競技規則問題集【13-2】

2分間退場を判定する場面であるため、まずはタイムアウトをとる。ただ、**アドバンテージを見ているため、即座に判定するのではなく、**競技の中断まで観察する必要がある。競技の中断時に相応しいスローによって競技を再開する。

19. 白チーム 3 番の 7 m スローで、レフェリーの笛の合図の後、白チーム 3 番がボールを手から離す前に、白チーム 5 番はフリースローラインを踏み越えた。

- (a) 7 m スローを再度実施
- (b) 相手チームのフリースロー**
- (c) 相手チームのゴールキーパーズスロー
- (d) 白チームの 5 番に、段階的罰則を適用

第13条1項a・第14条7項・第15条7項 参照
競技規則問題集【14-9】

笛の合図の後の攻撃側チームの違反であるため、防御側チームへのフリースローを判定する。

20. 白チームのフリースローとなった。白チーム 5 番は、レフェリーの笛の合図なしに全力で走りながら素早くフリースローを行い、白チーム 4 番にパスをした。しかしボールは、黒チーム 3 番によってインターセプトされ、黒チーム 3 番は、白チームのゴール前でノーマークの状態となった。

- (a) そのまま競技を続行
- (b) 笛の合図の後に、フリースローを再度実施
- (c) 黒チームの 3 番に段階的罰則を適用し、フリースローを再度実施

第13条2項・第15条7項第2段落 参照
競技規則問題集【15-25】

攻撃側チームの違反である上に、攻撃側チームのミスであるために吹き戻してはならない(防御側の違反はない)。

21. プレーヤーの退場時間は、いつ計測し始めるか。

- (a) レフェリーが、退場のジェスチャーをしたとき
- (b) 退場となったプレーヤーが、サイドラインを越えたとき
- (c) レフェリーが、競技再開の笛を吹いたとき**
- (d) タイムキーパーが、ストップウォッチを始動させたとき

第16条5項 参照
競技規則問題集【16-4】

退場時間は相手チームにとって有利にならないように計測する必要がある。そのため、相手チームのゆっくりとした行為には注意を払う必要がある。

22. 競技は中断され、黒チームの 8 番は 1 回目の 2 分間退場となった。競技再開前、黒チームの 8 番はコートから去る際、レフェリーにスポーツマンシップに反する態度で話しかけた。

- (a) 黒チームの 8 番に、2 分間退場を追加する。黒チームはコート上のプレイヤーを、2 分間 2 名減らす
- (b)** 黒チームの 8 番に、2 分間退場を追加する。黒チームはコート上のプレイヤーを、4 分間 1 名減らす
- (c) 黒チームの 8 番を、失格とする(レッドカードを示す)。黒チームはコート上のプレイヤーを、2 分間 2 名減らす
- (d) 黒チームの 8 番を、失格とする(レッドカードを示す)。黒チームはコート上のプレイヤーを、4 分間 1 名減らす

第8条7項a・第16条3項d
第16条9項a 参照
競技規則問題集【16-20】

スポーツマンシップに反する態度であるため、罰則が必要である。また、当該選手に2分間退場を追加するが、競技の再開前であるため、コート上のプレイヤーを4分間1名減らす必要がある。

23. 両チームのプレーヤーが衝突し、両レフェリーが笛を吹いた。コートレフェリーは攻撃側の違反(オフenseiveファール)を判定したが、ゴールレフェリーは防御側の違反を判定した。このようなとき、どのように判定すればよいか。

- (a) ゴールレフェリーの判定を採用する
- (b) コートレフェリーの判定を採用する
- ☒ (c) 両レフェリーが協議した末に、合意した判定を採用する
- ☒ (d) 必ずタイムアウトを取る
- (e) 合意した判定が攻撃側の違反であった場合のみ、タイムアウトが必要となる
- (f) 両レフェリーが通信機器により会話ができる場合、必ずしもタイムアウトを取る必要はない

24. タイムキーパーやスコアキーパーは、レフェリーが交代地域規定に反する行為に気づかなかった場合、いつレフェリーに伝えるべきか。

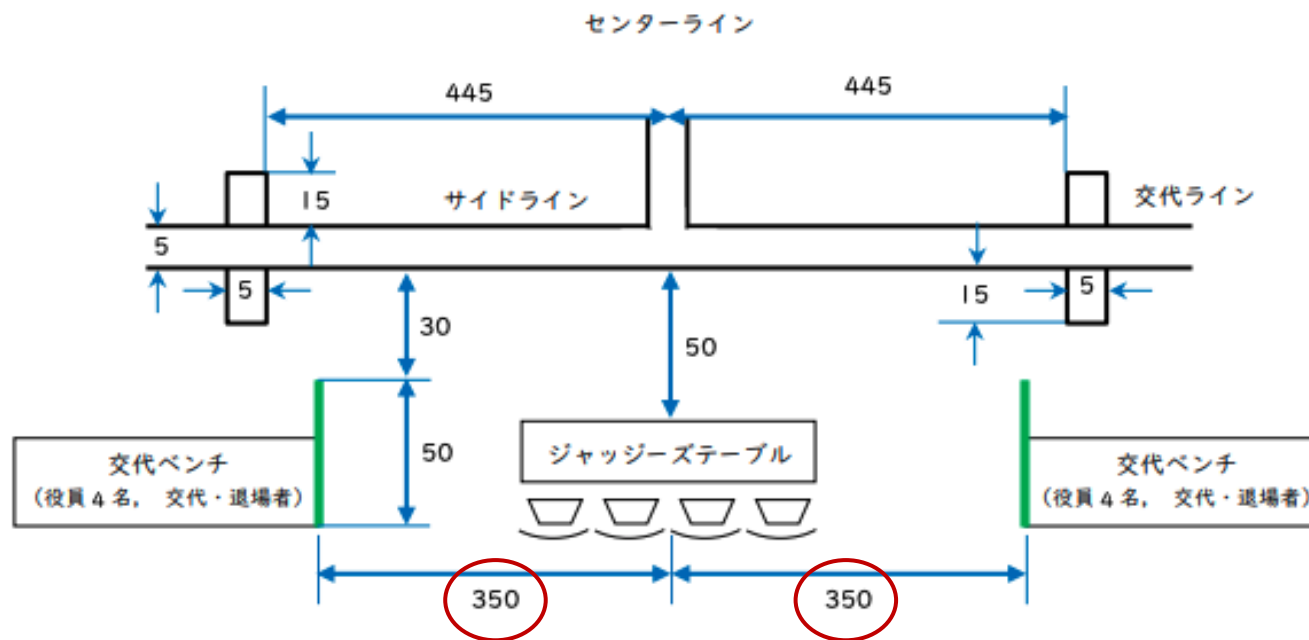
(a) 直ちに違反を知らせる

(b) 次に競技が中断したときに、違反を知らせる

中断されるまでは待つべきである。インプレー中であるならば、最後にボールを所持していたチームから再開する。

25. センターラインから、チームベンチの始端までの距離はどれだけか。

- (a) 1 m
- (b) 2 m
- (c) 3 m
- ☒ (d) 3.5 m



(単位は cm)

交代地域規定1 参照
競技規則問題集【交代地域規定-1】